



令和5年6月30日

かみせや

横浜市立上瀬谷小学校 学校だより

7月号

上瀬谷小学校教育目標

学び合う子

認め合う子

鍛え合う子

思いやり算 ～つながる心～

校長 小林 京子

6月は、教室での学習内容も少し難しくなり、本格的に学習内容が進んできたなあと感じる月でした。1年生は、 $5+2$ のようなたし算、4年生は、 $653\div 7$ のようなわり算のひっ算の勉強をしています。2年生、3年生は、4年生のわり算に進むまでの間に繰り下がりのひき算、かけ算ができるように学習しています。5・6年生は分数や小数の計算です。教師や友達の説明に耳を傾け、理解しようとする子、練習問題に真剣に取り組むも苦戦する子、「校長先生、わり算のひっ算、難しいよ…。」と思わず弱音を吐いている子、算数の学びの流れを見ながら、私も、それぞれ応援しながら教室を回ります。

また、新しい仲間たちにも少しずつ慣れ、友達との新しい関係も見えてくる月でもありました。新しい友達ができるとうれしいこともあります。意思疎通がうまくいかず、トラブルもあります。それでも、一つひとつを解決したり乗り越えたりしながら、人間関係も学んでいます。けんかをしたのかな、何かいいことあったのかな、廊下を歩く子どもの表情もいろいろです。

学校では、すべてが「学び」です。いわゆる教科の勉強も友達と過ごす時間も、そして全校で過ごす時間も…。先日の代表委員会では、今年の児童会テーマが「つながる心」に決まりました。クラスや学年、そして、「きらぼか班」の仲間たちと心をつなげて、温かい学校にしたい、という思いからだそうです。子どもたちは、心をつなげるとは、どんなことをイメージしているのでしょうか。人が知り合うとき、まずは、相手を認識し、どんな人かな、と興味をもつことから始まります。そして、名前を覚えて、声をかけて、相手の話を聞いて、少しずつコミュニケーションが始まります。こうして子どもは、子ども同士の関わりを通して成長していきます。素敵なテーマが決まったと思います。

算数や子どもたちの人間関係の学び方をみながら、子どもたちに身に付けてほしい「思いやり算」を思い出しました。算数の「算」も大切だけれど、こちらの「算」も大切にしたいと思います。

「心はだれにもみえないけれど、心づかいは見える。

思いは見えないけれど、思いやりは誰にも見える。

助（たす）け合う 引き（ひき）受ける

声を掛け（かけ）る 分け（わけ）合う。

それは、人を笑顔にする算数＝『思いやり算』 やさしいでしょ。」《出典 ACジャパン》

梅雨の雨をも楽しみながら生活している子どもたちは、ある日、急に弦を伸ばし葉っぱを増やす朝顔の成長と重なります。日々の学びが、心の栄養です。